

弊社の価値観

Nos valeurs

ライフアート

テーブルアート

デコレーション

日常のファイアンス陶器の喜び



カンペールの町で制作されるハンドメイド陶器

HENRIOT-QUIMPER（アンリオ カンペール）社は、これまであらゆるファイアンス陶器を常に発祥地のロクマリアで制作してきました。鋳型の制作から作品の焼成まで、それは陶工師たちが練り上げた独自のノウハウであり、本工房の心髄を表しています。

手書きで描かれるカンペール陶器

代々受け継がれる華麗なる技法、専門知識の錬金術に洗練された作品作り、色使いに釉…あらゆるこれらの要素が世界中で知られ、認められているように「カンペール風のタッチ」で制作されています。

斬新的な企業

常にカンペール陶器工房では、情熱が創造と革新を導いてきました。現在では、絵付師やデザイナー達が正規で HENRIOT-QUIMPER（アンリオ カンペール）陶器工房の下で制作し、カンペール陶器の新しいスタイルの開発に努めています。また、その開発の追求にあたり絵付師やデザイナー達は、とりわけ 20 世紀前半にカンペール陶器の創作で知名度を上げた先人達の足跡を追求しています。

ブルトン人のエスプリ

地域に根差した永続的な活動姿勢は、私たちが大切にしているものの一つにしています。地域限定の製造、能力開発、フランスにおいて優遇する原料、工具や資材の調達など、これらの配慮は私たちが常に掲げている経営方針となっています。

周知の企業

卓越さとノウハウで掲げられた弊社の理念は、最上級の芸術品として認められております。勲章ラベルは企業遺産の認定マークで、2006年に手作りで高品質を維持する弊社の功績を称して大臣より贈呈されました。フランスアートアトリエ（フランス最初の芸術専門家団体）所属の弊社は、国内外で大規模なコレクションに参加しています。



ノウハウ Savoir-faire



土と人間の手

HENRIOT-QUIMPER(アンリオ カンペール) 陶器工房で使用されるすべての鋳型は、彫刻家によって現場で制作されています。この彫刻家唯一のノウハウは、陶器工房の創意に大きく貢献しています。もし、製品の諸々の形によって加工テクニックが異なる場合、作業は手作りで、長い陶芸職の伝統に従って制作されなければなりません。



ファイアンス陶器の誕生

最初の焼成が終わると素焼きが誕生します。白くて硬いですが、まだ多孔質の製品ですので釉（粉状のガラスと水の混合物）が素焼きを保護し、ファイアンス陶器に艶を与えてくれます。ペイントの魔法は HENRIOT-QUIMPER(アンリオ カンペール) の名声を広めました。この技術を習得するには、長期間の技巧訓練が必要です。一度装飾が施され粘土から生まれた製品は、再び二度目の焼成が行われます。そして、熱が隅々までファイアンス陶器に命を吹き込み、色彩の強さと釉の輝きを浮き彫りにしてゆきます。また、それぞれのファイアンス陶器の裏に記載されているサインは、皆様に本物の品質の高さを証明してくれます。





沿革

Historique

三世紀に及ぶ歴史、変わらない情熱

ルイ 14 世の時代、王家により設立された陶器工房 (HENRIOT-QUIMPER) 社は、フランスで最も有名な手書き絵付けの陶器で、320年の歴史は事実上フランス全企業の中で、最も古い企業となっております。

歴史的にも十分に豊富なこの工房は、カンペール町のあるブルターニュ地方のシンボルであり (カンペール) と言えばアンリオ・カンペール社の陶器を指すまでになりました。遺産の一部をなす同工房は、現在も創業時の精神、技巧を守りつづけており、一瞬にして心奪われる可愛らしい素朴な伝統絵柄を軸に、おとぎ話のようなメルヘンの世界を演出し続けています。

歴史に刻んだ年表

- 1690 年** | プロヴァンス地方出身のジャン・バティスト＝ブケがカンペールの町に身を落ち着け、「パイプ (タバコ) ・ファイアンス陶器工房」を創設する。開業地は理想的であった。オデ川沿いの粘土に、周囲を取り巻く森林、セラミックスの焼成に不可欠な燃料に恵まれた土地であった。こうして、カンペール陶器が誕生する。
- 1907 年** | 200 年後、カンペール陶器工房の数世代にわたる陶工師たちが技術を洗練し、同工房の名が世に知られる。20 世紀に入り、すぐに一般公開を果たし、同工房は革新する。今日においては大変流行しているこのような観光式の企業は、当時は画期的なもので、多くの好事家や愛好家が「大家」唯一の技術を見るために詰め掛けた。
- 1936 年** | 史上初の有給休暇制度の時代、ブルターニュは流行の行き先となる。観光事業の到来である。カンペール陶器工房はネーミング入りの取っ手付陶器碗を考案し、人気のお土産品となる。
- 1968 年** | カンペール陶器の二大企業、HB (アッシュベ) 社と Henriot (アンリオ) 社が併合し、技術と能力を融合させる。二つの大手メーカーの合併を機に社名をファイアンスリー ド カンペール アッシュベアンリオ社とし、ブランド名を HB-Henriot に変更する。
- 2003 年** | カンペール出身のピエール＝シロンが、同社を買収し、新しい飛躍を遂げる。形態の創作を尊重し、アクセサリーや新しいデザインの陶器を開発し、多様化を図り、新市場を開拓し、より多くのアーティストとの共同制作を果たすなど、数多くのアспектやプロジェクトを通して HB - Henriot (アッシュベ アンリオ) 社を 21 世紀に送り込む。
- 2006 年** | HB - Henriot (アッシュベ アンリオ) 社が中小企業商工大臣より、フランス最古企業部門で授与される最高級の勲章ラベル「現存する企業遺産」を受賞する。この栄誉は、優秀な手工業および産業のノウハウを持つフランス企業に贈呈されるもので、フランスにおける陶工の偉大なる技巧の維持を賞して、三世紀にも及ぶファイアンス陶器工房の努力を称えるものである。
- 2008 年** | 数年間の沈黙後、ブランド HB - Henriot (アッシュベ アンリオ) はアメリカの舞台で頭角を現す。この地では、カンペールの名が 50 年以上も前からとても高く評価されている。同社はフランス唯一であるノウハウの将来的発展を掲げ、企業促進の一環として重きをなす国際舞台での存在感に力を入れる。
- 2011 年** | ブルターニュ出身のジャン・ピエール＝ルゴッフが同社の代表取締役社長及び筆頭株主となる。同年に同じカンペール町の陶器工房 (ファイアンスリー ダール ブルトン社) を買収する。歴史的風致の向上、発展に伴いブランド名を HENRIOT-QUIMPER (アンリオ カンペール) に変更する。同年、日本に HENRIOT-QUIMPER JAPON 株式会社を設立する。